



アーキテクチャ図

Amazon EKS と Amazon RDS を使用した OpenText InfoArchive アーキテクチャ



Amazon EKS と Amazon RDS を使用した OpenText InfoArchive アーキテクチャ InfoArchive: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Amazon EKS と Amazon RDS を使用した OpenText InfoArchive アーキテクチャ InfoArchive i

Amazon EKS と Amazon RDS を使用した OpenText InfoArchive アーキテクチャ図

InfoArchive 1

詳細情報 2

寄稿者 2

図の履歴 2

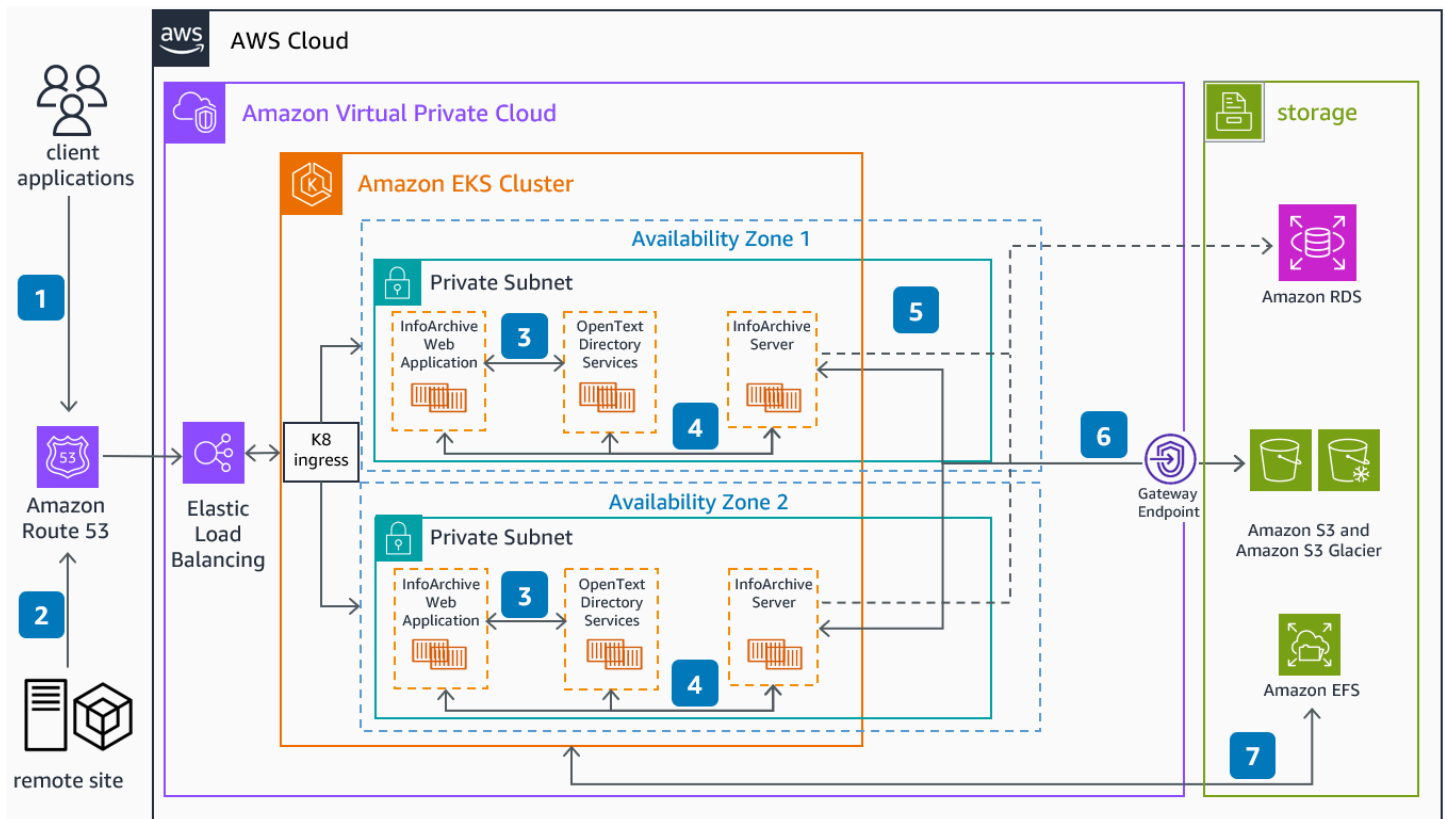
..... iv

Amazon EKS と Amazon RDS を使用した OpenText InfoArchive アーキテクチャ InfoArchive

公開日: 2023 年 5 月 23 日 ([図の履歴](#))

Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) と Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) で OpenText InfoArchive を実行します。InfoArchive この OpenText InfoArchive の詳細については、[OpenText InfoArchive によるデータの管理](#) および「」を参照してください AWS。

Amazon EKS と Amazon RDS を使用した OpenText InfoArchive アーキテクチャ図 InfoArchive



1. 管理、設定、検索、または取得のための RESTful API コール。
2. 取り込みとアプリケーション統合のための RESTful API。
3. OAuth2 フローは、OpenText Directory Services から認可リクエストとトークンリクエストを生成します。

4. InfoArchive サーバーに渡される InfoArchive ウェブアプリケーションクライアントからの HTTPS REST 呼び出し。
5. Amazon RDS の InfoArchive データベースでメタデータを検索して保存します。通信は TLS 1.2 経由です。自動フェイルオーバーによるマルチアベイラビリティゾーンのディザスタリカバリ。
6. バイナリ取り込みコンテンツ、構造化データと保持データのバックアップなどのバイナリ (非構造化データ) を保存し、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) と Amazon Amazon Glacier でオプションの VPC ゲートウェイエンドポイントを使用して結果をエクスポートします。追加のストレージオプションを利用できます。
7. Amazon Elastic File System (Amazon EFS) は、ローカル最適化のための一時ストレージおよび作業ストレージの永続的な Amazon EKS ボリュームとして使用されます。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)
- [ブログ - OpenText InfoArchive と AWS を使用してビジネス完了データを管理する](#)

寄稿者

このリファレンスアーキテクチャ図の寄与要因は次のとおりです。

- ソリューションアーキテクト、Chavi Gupta

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更

説明

日付

[更新](#)

リファレンスアーキテクチャが更新されました

2023 年 5 月 23 日

[初版発行](#)

リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。

2021 年 9 月 20 日

Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。